

園だより

あっという間に4月が過ぎていきました。寒暖の差が激しく新しい環境に慣れるのに、体がついて行かないようで、特に新入園児さんにとってはしんどいひと月になりました。この短期間にもさまざまな感染症にかかり欠席も多く、やっと慣らし保育が終われる…といったところでしょうか。お互い“初めまして”同士、わからないことだらけ。特に体調面では細心の注意を払い過ごしています。無事に過ぎれば、この気候です。ご機嫌で過ごせる日々が待っています。何より健康が一番！機嫌がいいのも、食欲があるのも、友だちと表情や言葉を交わすといった保育園ならではの楽しみを味わえるのも健康あってこそ。

今後も子どもたちが充実した日々を送れるよう気に掛けていきます。お仕事との兼ね合いもあり大変だと思いますが、ご協力をお願いします。

平成30年5月1日 二条保育園発行

行事予定



- 9日(水) 乳児健康診断
- 11日(金) 月組田植え
…おにぎりお願いします
- 15日(火) 遠足(お弁当日)
月・雪・星・花…植物園
※ことり組もお弁当です
- 23日(水) お誕生会



こんなん見たことない！太長いミミズ。いや、ふっといながいミミズ。お弁当日の御所で発見。リュックを下ろし、駆け回る子どもたちを見つ…？月組担任、ふわふわの枯葉の溜まっているちょっとした溝を棒きれでさらっています。そこに引っかかってきたのが先のミミズ。やった！とばかりの表情で掌にのせ、披露。

黄色のよくわからない汁を出しながらクネクネと動く姿。「うわーっ！きゃあ〜」と走り去る子どもたち。“そら逃げるわな…”しかし、愛おしそうにミミズを掌で包む担任に、恐る恐る近づき「持ってみたい」と言う子どももあり、あっという間に我も我もと人だかりが。ミミズご一家？お友だち？は日なたに晒され、それぞれの掌をクネクネと踊ります。「かわいい〜！」触るうちに愛着もわいてくるようで、「お家に持って帰る！お母さんに見せたい」と言い出す始末。「いや、ここがミミズのお家やねん、家族と離れたら寂しいし、ここにはおいしいもんもいっぱいあるねん。置いて帰ってあげてな」ニコッ。努めて柔和な笑みを浮かべつつ、姿勢は断固反対！もっともらしい理由をつけます。“どうするんだ?!それぞれのリュックからこのミミズ軍団が出てきたら…”(園で飼おうか?と言ってやれなくてゴメンやで。だって…)軽く身ぶるい。

しかし、夕方のお迎え時、「きゃあーっ！」という、あるおばあちゃんとあるお母さんの悲鳴を私は聞きました。やはり！出てきた2匹のミミズ。やや得意気に紹介された2匹ですが、説得にあい1匹は園庭の草むらに。1匹は『無事カエル』の置物の隣に…とのことでしたが、ご自宅マンションの花壇まで連れて行ってもらったとのこと。

お楽しみは他にも。友だちと手をつなぎ出水の小川を靴でジャブジャブ進み(なぜか?靴下の洗濯も)、趣ある八重桜の花びらを舞い散らせ、まだ若い松をポンポン叩いて、周辺が白くなるほど種子を飛ばしまくり、顔を見合わせ“すごいな!”といった表情でうなずき合います。

『春の自然』はおもしろい、でも、もっとおもしろいのは『子どもと自然』です。いいですね、各ご家庭に『ひとり』はおもしろいものが居てくれて！育てるということはなかなか大変。でも、おもしろさもいっぱいあります。楽しみにしていましょうね。